

宮内庁、電腦施設「天脳」の存在公表



テーマ館「生命の樹」・意識保存装置の全貌。

保存意識劣化が、揺らぐ永遠の昭和

午前10時、宮内庁長官・西園寺俊彦氏が緊急記者会見に臨んだ。これまで一部の政府要人と宮内庁関係者のみが知る国家最高機密であった皇居地下の巨大電腦施設、通称「天脳（てんのう）」の存在を突如公表したのだ。

憔悴した面持ちの西園寺長官は、まず深々と頭を下げ、国民にこう説明した。「この度、国民の皆様は、長らく秘匿してまいりました施設についてご説明申し上げます。昭和64年の天皇陛下崩御の際、陛下の意識は、意識保存装置により保存されました。その意識データを安全かつ確実に維持するため、皇居地下に極秘裏に建設されたのが、この電腦施設「天脳」であります。」

長官は、天脳が陛下の意識情報を安定的に運用し、国家の重要な局面において、その御意思を国民に伝えるための基盤として機能してきたことを明かした。天脳は、最先端の量子コンピュータ技術と、意識解明技術の粋を集めた、まさに現代の「御神体」とも呼ぶべき存在だとされる。その存在がいにべールを脱いだのだ。

しかし、その発表の核心は、続く長官の言葉にあった。

「誠に遺憾ながら、この『天脳』施設の経年変化により、保存されている天皇陛下の意識データに、微細ながらも劣化の兆候が確認されました。」

この発言に、会場は騒然となった。天皇陛下の意識は、元号「昭和」の継続と共に、永遠の存在として国民の精神的支柱とされてきた。その絶対的と思われた存在が、まさか、劣化によって危ぶまれるとは、誰も想像していなかったのだ。

長官の説明によると、劣化はデータの欠損や誤作動といった目に見える形ではないものの、意識の応答速度のわずかな遅延や、過去の記憶の一部の曖昧さといった形で現れているという。専門家チームが緊急で調査を行った結果、天脳内部の量子ビット回路の微細な損傷や、長期運用によるエネルギー供給システムのわずかな不安定性が原因である可能性が高いとされている。現在のところ、意識の完全な崩壊には至っていないが、このまま放置すれば、劣化が進行し、最悪の場合、意識の維持が困難になる可能性も否定できないという。

昭和という元号と共に、国民の心の拠り所となっていた陛下の意識に劣化という言葉が突きつけられたことは、日本の社会と人々の精神に大きな動揺をもたらしている。インターネット上でも「意識保存とは、本当に永遠を意味するのか」「肉体なき存在の限界なのか」「意識の寿命」という新たな哲学的な問いが噴出している。

宮内庁と政府は、この問題に対し、国内外の専門家を集めた緊急チームを編成し、劣化の原因究明と修復、そしてより安定的な意識保存方法の確立に全力を挙げると発表した。しかし、人類が経験したことのないこの事態に対し、確実な解決策が見つかるのかは未知数である。

この発表は、意識保存技術が抱える「限界」を世界に知らしめることにもなった。かつて桜木玲奈のような著名人が未来に希望を託して肉体冷凍保存を試みたが、今回の陛下の意識劣化問題は、その種の挑戦にも新たな影を落とすだろう。

「永遠」と信じられてきたものが揺らぎ始めた今、日本は、そして人類は、自らのテクノロジーがもたらす未来と、それに伴う新たな課題に、どのように向き合っていくのか。その問いは、今、すべての国民に突きつけられている。

並行日本新聞

2010年(昭和85年)

10月1日(金)

発行所

弁天舎



info@parallel-nippon.jp

号外

並行日本新聞・号外は左記サイトでもご覧いただけます。
www.parallel-nippon.jp

8月27日(水)より開催の弁天舎特別企画・シモヒロヤス個展『パラレルニッポン』にて全ての号外新聞を展示予定です。

個展会場の「日仏会館/ギャラリー」をご紹介します。

日仏会館は、日仏両国の学術の交流・協力に必要な有形の設備を整え、フランス語・フランス思想の普及と日本文化の紹介を図るため、1924年、渋沢栄一と当時の駐日フランス大使で詩人でもあったポール・クロードルにより設立されました。以来今日まで、日本における日仏学術文化交流の重要な拠点の役割を果たしています。ギャラリーは2階にあります。

◎JR山手線：恵比寿駅東口下車・恵比寿ガーデンプレイス方面へ徒歩10分
◎東京メトロ日比谷線：恵比寿駅1番出口アトレ・JR恵比寿駅東口を經由徒歩12分
※JR恵比寿駅東口よりガーデンプレイス方面の動く歩道(恵比寿スカイウォーク)の終端より外に出て、左手の交差点を渡り、ガーデンプレイスを右手に見ながら直進すると次の交差点の角が日仏会館です。



<https://www.fmfj.or.jp>



弁天舎特別企画

HIROYASU SHIMO SOLO EXHIBITION
シモ ヒロヤス個展2025

PARALLEL
NIPPON

2025 8/27 WED. - 9/7 SUN.

OPEN 12:00 - CLOSE 20:00

会場 | 日仏会館ギャラリー
東京都渋谷区恵比寿3-9-25

パスポートチケット/500yen (未就学児無料)

